

委員会レポート

委員会では、付託された議案等の審査のほか所管する事項の諸問題について調査を行っています。今回は、先進事例に学んだ行政視察の結果を報告します。

《議会運営委員会》 11月18日～19日

●議会活性化への取り組みについて
視察先：山形県庄内町議会
庄内町議会は「議会の活性化」や「住民に開かれた議会」へ向けて積極的に議会改革に取り組んでいます。

常任委員会の調査報告を執行部への「提言・提案」とし、全議員が同じレベルの認識に立てるよう委員会等の機能を強化する、定例会終了後にその定例会の議事等について検証する、議会として

●議会改革について
視察先：山形県酒田市議会
酒田市議会は、選挙で



議会として責任を果たす

選ばれる市民の代表としてその負託に応える責務を自覚し、平成11年から継続的に、議会活性化等について検討を行い、議会のあるべき姿を追求しています。

それらの検討結果が「議会基本条例」制定への契機となり、現在、議会基本条例起草委員会や議会改革特命委員会が議論を行うほか、パブリックコメントの実施や執行部と意見交換を行い、次期定例会での制定に向け

邁進してしました。

《建設委員会》 11月11日～12日

●狭い道路拡幅整備事業について
視察先：栃木県鹿沼市役所
鹿沼市の市街地では、狭い道路を挟んで住宅が密集しており、救急車等の緊急車両のスムーズな活動が出来ません。



安全安心な生活のために

このような問題を解決するため、狭い道路に面して建築物を新築、増築、改築する場合は、建築基準法に定められた4メートルの道路用地を確保できるように、平成14年に特定行政庁になったと同

時に建築主事を置き、建築確認事務と併せて事業を進めていました。また、事業の特典として、後退用地の整備や免税措置等を行っていました。

本市にも、幅員が狭く、緊急車両が通れない場所が多く、この地区にあり、早期に対策を講じていく必要があると感じました。

●市町村設置型合併浄化槽について
視察先：山形県長井市役所

もともと長井市は、市の中心部は公共下水道、周辺部の住宅密集地は農業集落排水、その他の部分は個人設置型合併浄化槽で生活排水処理を行ってきました。

平成13年度にこの3事業の経済比較を行った結果、新規の農業集落排水事業は行わないこととし、従来の計画区域の大部分を市設置型合併浄化槽で行うことにしました。市設置型であるのは、公共下水道・農業集落排水事業区域との整合性・公平性を図るためです。